

# NEWS LETTER



京都教育大学  
附属教育実践センター機構  
教育支援センター

Kyoto University of Education  
Organization of Educational Research and Practice Centers  
Educational Support Center

第27号(2016.1.14)

<http://cert.kyokyo-u.ac.jp/>

## 講演会「モンスターペアレント論を超えて」について



京都教育大学の教育支援センターと教職キャリア高度化センターでは、「学び続ける教員」を養成・支援するための取組をおこなっています。その取組の一環として、昨年大好評を得た東京大学名誉教授・元日本教育学会会長：堀尾輝久先生に続き、本年は12月4日にメディアでも有名な大阪大学大学院教授の小野田正利先生をお招きして、「モンスターペアレント論を超えて～保護者と向き合う気持ちと教職員の共同性～」の題で講演していただきました。参加者は昨年の168名を上回る208名で、他大学や現職教員など学外からの参加も多く、大変熱気のある有意義な講演会となりました。

昨今の教育現場をみると、保護者対応やトラブルに悩む先生方も多いと言われます。とくに新任の教員はそれが大きな悩みになる場合が多い傾向にあります。

講演では、子どもを真ん中において、ともにその成長を喜び合えるような「学校と保護者のいい関係づくり」についてお話していただきました。「普通の教師が普通に生きられる学校こそが、子どもたちにとっても安心して豊かに学べる場所になる」という小野田先生のメッセージは、会場に来られた現職教職員のみならず、将来の教員を目指す学生・院生にとっても何よりの励ましのメッセージになりました。話し方も小野田先生が自称される「教育界の綾小路きみまろです」との言葉通りの、難しく暗くなりがちな事象を楽しく語られる名調子で、あっという間に予定時間が過ぎていきました。

なお詳細は、学長裁量経費によるプロジェクト報告書『「学び続ける教員」を養成するシステムのデザインに向けて』に掲載します。



## 第87回国立大学教育実践研究関連センター協議会について

2015年9月24日(木) 横浜国立大学教育人間科学部講義棟において、北海道から沖縄まで全国49大学の教育実践研究関連センターが参加して協議会が開催されました。

午前中は、文科省初等中等教育局教育課程課長合田哲雄氏より講演がありました。講演題目は、「学習指導要領改訂と教員養成大学・学部—成熟社会に相応しい学校教育に向けて—」というものでした。内容は1) 日本における教育課程の歴史と諸外国との比較 2) 現行学習指導要領の理念と構造 3) 学習指導要領改訂に関する議論 4) 学習指導要領改訂と教員養成大学・学部という流れで進められました。最後に「今後の国立大学の機能強化」ということで、大学の量的縮小を図りつつ、充実した教員養成に取り組む必要性について述べられました。

午後からは部門会議<教育実践・教師教育部門>に参加しました。谷塚光則(信州大)「学生の振りかえりを促進するポートフォリオ活用」長谷川哲也(静岡大)「学生のボランティア活動の「振り返り」システムについて」木谷秀勝(山口大)「ちゃぶ台を囲むようにみんなで議論・実践・解決しながら教育課題に対応できる教員養成をめざす「ちゃぶ台プログラム」の3本の報告があり、その後全体交流会を行いました。「国立大学の機能強化」に向けてそれぞれの大学が試行錯誤しながら様々なプログラムを構築し、存続に向けて取り組んでいることを痛感しました。

## 他大学との学生ボランティア交流について

12月19日(土) 本学の学校ボランティア「てんとうむしクラブ」の活動に、奈良教育大学・大阪教育大学の学生が参加しました。「てんとうむしクラブ」は南大内小学校(南区八条内田町)の1・2・3年生を対象に、毎月第3土曜日に活動し



ています。主に体力づくりを目標にしていることから、校外活動に力を入れています。最終3月の活動日には、徒歩で嵐山まで(10km)を歩くことを目標にしています。この日は、朝8時頃に近鉄東寺駅に奈良教育大学の学生と大阪教育大学の学生を迎えに行き、南大内小学校へ。当日の活動「京都駅ポイントラリー」の打ち合わせを行いました。そしてそれぞれのグループに付き添って、京都駅へと向

かい、いろいろなポイントを探しながら散策しました。11時30分に南大内小学校へもどり、サンタ姿の学生からプレゼントを受け取り、当日の活動は終了しました。通常は、当日の振り返りを南大内小学校で行うのですが、交流会ということで大学にもどり、京教大と奈教大の活動について交流を行いました。京教大は、計画立案から当日の活動まで全て学生が行いますが、奈教大の場合はコーディネータが学校と学生を繋げています。学習支援、遊び、宿泊学習などが行われているとのことでした。それぞれに学ぶところの多い交流会となりました。



## 留学生と地域住民との交流プログラムについて



教育実践センター機構棟内ミニシアターに於いて、10月14日(水)に、大学院生の史佳麗さんを講師に迎え、「中国の印象」と題して、様々な視点から中国の紹介をしていただきました。中国の伝統的な衣装を復活させようという動きがあり、史佳麗さんは手作りの漢服を纏って登場されたのが印象的でした。



11月11日(水)には、教員研修留学生でマレーシアの小学校教員をされているクリスティ・マジヨデインさんを講師に迎え、「マレーシアの教育」についてお話しいただきました。多民族国家であるマレーシアでは、マレー語、中国語、タミル語の小学校があるそうです。また、大学に入る前の予備教育が1年ほどあり、その後国家統一試験があるなど、日本とは違う教育制度について興味深く伺いました。

次回は、右表のように行います。入退場自由ですので、気軽にのぞいてみてください。



1月27日(水)13:30~14:30

「コロンビアは日本の教育から何をならうべきか」



講師：教員研修留学生 ルイス・アルフォンソ・ロルダン・ペドラサさん

## 幼児教育専攻学生による board deco



12月は、クリスマス。サンタとトナカイと天使たちが、クリスマスキャロルを楽しげに歌っているようです。1月は、今年の干支の猿が友達たちとお正月を楽しんでいますね。

季節感あふれる学生たちの貼り絵を、機構棟でご覧下さい。



### 教育支援センター

センター長／モラル・人権意識向上教育部門  
教育実践連携部門  
実地教育部門／就職・キャリア支援部門  
実地教育部門／就職・キャリア支援部門  
実地教育部門／就職・キャリア支援部門  
実地教育部門(兼任)

関口 久志 075-644-8326 sekihisa@  
樋口とみ子 075-644-8337 tomiko@  
西井 薫 075-644-8806 kaoru@  
岡田 敏之 075-644-8214 okada@  
今野 勝明 075-644-8216 konno@  
小山 宏之 075-644-8281 koyama@

ボランティアオフィス 075-644-8336 (月 11時~14時、水 10時~13時、金 11時~15時) sien@  
運動部活動指導者育成室 075-644-8143 (月・水・木 10時~15時15分) bukatsu@  
事務担当：研究協力・附属学校支援課 研究協力・センター機構支援グループ kenshien@

TEL 075-644-8335、8118 (内線のみ) FAX 075-644-8339 E-mail cert@

